

専教寺報

浄土真宗本願寺派 一乗山 専教寺 題字 大橋曾水
〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛2033
TEL.0866-82-0488
URL.<https://www.senkyoji.com/>
E-Mail.senkyoji@senkyoji.com



専教寺小路

泥中の蓮

住職 釋龍生

今年は桜の開花が例年に比べて少し早かったのではないだろうか。桜には不思議な魅力があると、春の季節を迎えると改めて思う。咲くと人々の心を躍らせる華やかさ、また、しなやかに力いっぱい咲いて散りゆく短い命のはかなさ。朝の桜や夜桜、桜にはどの顔にも人々を魅了する力があり、その気になれば一日中眺めていられる。

二歳の息子が、今年こども園の入園式を迎えた。親心も手伝ってか、満開に咲き誇った桜が、そよ風に心地よく揺られる木の下を、

息子と手を繋いでこども園に向かうことを夢見ていた。現実には夢かなわず、息子の入園式を迎えてくれたのは、春の新緑の訪れを告げる葉桜だった。

桜と言えば、ある雑誌で昔話にある「はなさかじいさん」に関するコラムを読んだ。「はなさかじいさん」のあらすじの全体は省略するが、この話に、飼っていた犬の形見である臼の灰を、枯れた桜の木にまき散らすと、あつという間に桜が咲き乱れた、というくだりが出てくる。しかし果たして、枯れた桜の木に灰をまくことで、桜の花は実際に咲くの

だろうか。先のコラムでは、このことを検証するという内容であった。結論としては、枯れた木は論外として、花芽をつける木にいくら灰や植物、主に葉から分泌される花芽の開花をうながす物質を粉状にして、まいても花を咲かすことはできないということだった。

科学が常に日進月歩する昨今であるが、分からなければ分からないままでもいいこともある。昔話は昔の人が作った子どもへの人生訓として、今後子どもたちのヒーローであってほしい。灰をまけば、桜が咲き乱れる昔話にふれて

いると、現実には、泥の中からきれいな花を咲かせる蓮の花を思い浮かべる。旬の季節、池に咲く蓮の花を眺めていると、本当にこの泥や濁った水を養分として咲かせたのだろうかと疑うほど見事である。「蓮は泥から生じて

も、泥に染まらず」とはよく言ったものだ。よく泥や濁った水を、娑婆世界や私たちの眼をさえぎる煩惱に、蓮をお浄土に壮麗に咲く花や仏さまの悟りにたとえられるのもうなづける。よくお寺の境内の池に植えられる由縁であろう。私たちも阿弥陀さまのおはたらき

のままで、娑婆の果ては、お浄土に参って、仏さまに仕上げていただく。だから親鸞聖人は、阿弥陀さまのおはたらきを、他力廻向の信心、本願力廻向と表現された。私たちは皆、泥や濁った水と同様の娑婆という煩惱に満ち満ちている苦海を一生懸命、泳いで、泳ぎきろうと、辿り着けるかどうか見当もつかない岸をめぐって迷いながら生きて

いる。だからこそ阿弥陀さまは、必ず救う、我にまかせよ、と彼の岸（彼岸）から、私のそばで常に呼びかけておられる。まさに泥の中から咲いたと想像もつかない蓮の花のような、仏さまと生ま

れ変わらせていただくのである。

最近、テレビのニュースを見てみると、子ども

の虐待、殺人事件やあらゆる詐欺、国と国との地球をめぐる覇権争いまで、聞くに堪えないニュースが、毎日垂れ流されている。しかしどんなに喚ぶうが、騒ごうが、阿弥陀

さまからすれば、人間の行いは所詮、井の中の蛙大海を知らず、六道の迷いである。

あるテレビで、なぜ、さえない役者を大根役者と呼ぶ、というクイズを出していた。その答えは、大根は比較的食あたりを起こさない安全な野菜。だから大根をいくら食べ

てもあたらぬように、下手な役者がいくら芝居をしてもあたらぬところから、ということであつた。しかし逆に、大根という野菜はある意味万能である。出汁が染みこめば、出汁によってはさまざまな味が楽しめるし、おろすと胃の消化を助ける食材にもなる。たくあんなど干してもおいしい。何より食あたりを起こさないというところがとても魅力的だ。当たり障りなく、しかし万能に。私は、お念仏をいただきながら、こんな生き方ができれば、と常に思う。

だいて、そのまま、あり

（南無阿弥陀仏）をいた

だいて、そのまま、あり



皆さまに感謝

坊守 佐々木ひろみ

新しいことが始まる春。私自身も気持ちを新たに新年度がスタートしました。職場復帰と同時に転職し、また新たな出会いを楽しみながら、気持ちを引き締め、頑張っているところ。そして、息子も、こども園デビュー。大丈夫かな、と親は心配しています。最近友達と遊ぶことや、お話を作りながらおもちやで遊ぶことを楽しむなど、少しずつ世界が広がってきているので、意外と早く慣れてくれるのではないかと期待も

しています。

三年間、育児休業をいただいたいて、家で過ごしました。「のんびり」とはいきませんでした。忙しい、忙しくも、充実した日々を過ごすことができました。これまで、できていなかったこと、知らなかったこと、やりたくても手が回らなかったことなど、いろいろな経験をするのができました。

例えば、子育て。大変なこともありますが、初めて立った、歩いた、しゃべった、など一つずつできることが増えていく喜びを感じることができました。また、子どもを通してたくさ

んの温かさにもふれさせていただきました。ご門徒、近所の人、お店の人、宅配の人・・・多くの方が、優しく声をかけてくださり、見守ってくださいました。おかげさまで、息子は、自分から人に話しかけたり、はしゃいだり、深々とおじぎをしたりと、人に会うのがとてもうれしいようです。

次に、お寺のことで。これまで、家のこともお寺のことも、ほとんど前坊守に頼り切っていた毎日でした。休みにあって、できることをしなくては、と、本堂のお花を入れるようになってきました。前坊

守に教わったことや、なんとなく見ていたことを頼りに、どうにか生けるようにしました。

「きれいにできました」と言い切れるところまでまだまだできませんが、阿弥陀さまへのお給仕をさせていただけでよかったです。また、家にいる時間がほとんどなかった以前に比べて、平日に來られるご門徒の方々とお話する機会が増えたのもよかったです。

コロナ禍で、まだまだ人と交流が十分にできるまで時間がかかりそうですが、この三年間で経験できたこと

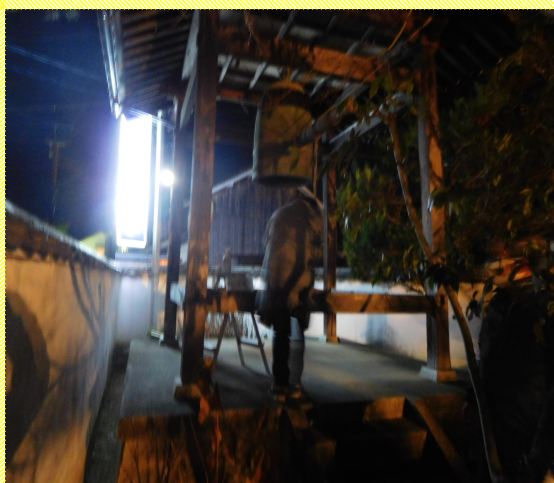
報恩講

令和2年11月28日（土）



挿絵 内村 壽美子

に感謝し、生かして
きたいと思えます。



除夜会

令和2年12月31日（木）

和顔愛語

穏やかな顔と優しい言葉

衆徒 佐々木龍三

この一年、新型コロナウイルス感染症の影響で生活様式が大きく変化しました。当たり前が当たり前でないことに気付かされ、様々な有難さを思うと同時に、思い通りにならない苦しみも一層痛感させられました。

私自身、約一年沖縄県から一歩も出ることなく、専教寺にも約一年半帰っていない状況です。たいへんご無沙汰しております。

新しい生活様式の一つにマスク着用があります。「新しい生活様

式あるある」で、マスク着用によって「初めて会う人の顔が覚えづらくなつた」、「知人だと気づけないことがあつた」、「声をかけたら人違いで気まずい思いをした」とありました。心当たりのあることばかりです。

つい先日、声をかけた

相手が人違いだったことがありました。気まずい思いをしたそのとき、相手の方が「マスクばかりでわからないよね」と気遣う言葉をかけてくださり、その瞬間ホッとしたのを覚えています。

また、沖縄県内の商工会で「新型コロナウイルス感染症に負けない！」をテーマにした川柳コン

テストが開催され、その最優秀作品は「マスクでもあなたの笑顔 届いてる」でした。マスク姿で表情はわかりづらくなりましたが、笑顔は伝わるんですね。お互い喜んで

いる姿が想像できて、心温まる作品だと思いました。『仏説無量寿経』に「和顔愛語」という言葉があります。「和顔愛語」は、阿弥陀さまが仏と

られる前の法蔵菩薩であったときに、仏となるために積まれた菩薩行の一つとして説かれています。お経には「和顔愛語にして、意を先にして承問す」とあり、「表情はやわらかく、言葉はやさし

く、相手の心を汲み取ってよく受け入れる」ことです。つまり、他者と接するときには、相手の心を先に汲み取って、いつも穏やかな顔で接し、優しい言葉をかけるという意味です。穏やかな顔と優しい言葉で他者に接すれば、お互いに温かく幸

せな気持ちになれます。

この「和顔愛語」を仏さまのように常に実践できればいいのですが、私

が日常生活の中で常に実践するのは困難なようです。それは、自分の都合によって、怒り、腹立ち、ねたむ心の絶え間ない私だからです。仏さまはすごいですね、いつも「和顔愛語」です。

仏さまのようにできない私ですが、自分にできる限り「和顔愛語」を実践し、その輪を広げていくことが、みんなが幸せになれる方法の一つだと思います。マスク姿でも「和顔愛語」実践できま

すよ！

コロナ禍で誹謗中傷が社会問題になっています。「和顔愛語」で、おかげ

さまと他者のことを思いやり、支え合う生活を心がけたいものです。世界の新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息するように念じております。



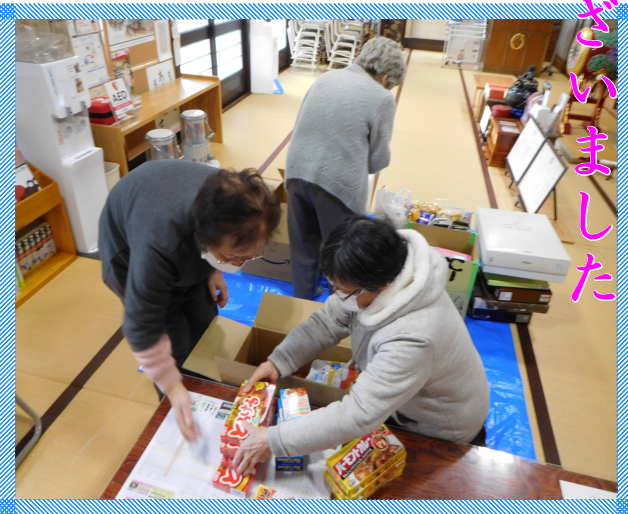
境内池清掃

令和3年3月18日（木）



組重点プロジェクト 支援物資発送作業

令和3年2月16日（火）



専教寺の納骨堂が完成間近です。
4月25日（日）に、総代と寺族の参拝にて、
落慶法要をお勤めいたします。
完成は、4月末を予定しております。
お寺にお参りの際は、ぜひご覧ください。
なお、見学を希望される場合は、事前
にご連絡ください。

（専教寺納骨堂は、専教寺門信徒専用です。）

元旦会

令和3年1月1日（金）




専教寺納骨堂

ご奉仕ありがとうございました

新型コロナウイルスの感染拡大におきましては、依然予断を許さない状態が続き、ご配慮の続く日々と拝察いたします。



当面の行事について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、クラスター発生防止のため、前年と同様に門信徒の参拝を中止する予定です。コロナ禍の状況が好転した場合、あらためて今年度の行事予定をお知らせいたします。




大体仕事って
人のためなんだ
 サンドウィッチマン


浄土真宗本願寺派 一乗山 専教寺
 電話 0866-82-0488

 * 専教寺の臥龍松の紹介映像を *
 * 倉敷市公式 YouTube *
 * 「高梁川流域デジタルアーカイブ」 *
 * で観ることができます。 *
 * 専教寺のホームページにもリンクしています *
 * ので、ぜひご覧ください。 *


臥龍松保存のための寄付をお願いします


**臥龍松を維持管理するには
 たくさんのお金がかかります。
 矢掛町の重要文化財の保存に
 ぜひともご協力下さい。**

**一口1,000円から受付けています。
 1,000円ご寄付の方には臥龍松のポストカード
 をプレゼント。お寺にご連絡下さい。**


 ※この寄付はあくまで任意です。